

ちよつといひ話

～負を誰が背負うか～

現代の生活を見ると全てに保障と云う言葉が重くのしかかっている。信仰にも保障される信仰と保障されない信仰がある様に思える。莫大な赤字を抱える国民保険、本人が3割の負担をする事になっています。ただこれには裏があって高額の場合は月に約5万円程度の支払いですむのである。分かりやすく説明する為に、譬えば一人の病人が百万円の治療費を支払うとします。仮に本人が3割の30万円を支払ったとしても70万円が国民負担となります。10人で一人を支えるとして、一人7万円もの援助をしなくてはならないのです。100人で一人を援助するなら7千円ですみます。國も国民に赤字々と云う前に自己負担を何%にしたら赤字から脱出できるか発表したほうが良いと思います。30年前には考えもしなかった事が現在では起きてしまいます。ですから各市町村でも保険料の収支を出し、一人数十万円の赤字になると思いますが保険を使用しない人が負担するのか、しないのか協議すべき時代になったと思います。家族の事は家族で守る、これが原点だと思います。全てが平等にはいかない現実を見つめるべきです。ここに保障制度の難しさがあると思います。自己の爲に他の助けを求めても限度、限界があるのです。

このままですと給料が30%カットされ税金にあてなければやって行けなく成る日も近いと思われます。要心しないと給料も品物と同じように30%offのバーゲンになるかもね。日本人は甘いと思います。世界に於いても、国連の年間経費の半分以上を日本とアメリカで持っております。赤字財政の日本が当然の様に負担するのは止めたほうが良い、日本は何の発言権もなく、常任理事国入りにも反対されており、この際、多額の金の支払いを拒否してほしいと思います。如何な物でしょう。

信仰的にみても、見ず知らずの人が祈りを捧げて下さいますか？坊主や神主、神父の布施を払い、全く知らない病人の祈祷をする方みえますか？色々援助をするのは家族、親族がほとんどだと思ひます。信仰以外ですと外国での治療費が多額な爲、募金をする方々がみえますし、N・G・O等の非営利法人の活躍等、暖かい心を持つ事は大切だと思ひます。健康については第48号を参照して下さい。今や、病気で気を病み、信心の信も無く、心も無く、従いまして、往生する人も少なく、不健康な娑婆世界になっております。ですが、度々述べております様に、全てに和合の相が取れるならば明るい未来世が訪れる事間違いなく、家族単位で良くなれば社会はすぐに良く成って来ると思ひます。心即理しかり、性即理またしかり。願わくは^{てんげわじゅん}天下和順にして、佛道を進まれる事を祈念致します。

善壽界 善入院 油掛地藏尊